



2023.7  
No.160

# 松川町議会です

潮干狩り やってるあいだ 迫る海 (中央小6年 おがさわらがく 小笠原 岳)

シリーズ 『えがお』



登山の安全祈願 (鳩打峠)

令和5年度一般会計補正予算 (第2・3回)  
商工観光に多額の補正

4ページ

県下2例目 松川町議会イクボス宣言

5ページ

新町長の考えを問う 一般質問

13~19ページ



# デマンドタクシー

「チョイソコ・まつかわ」

町内を走る！ 走る！



利用者登録はこちらから



【委託業者に伝達】



【チョイソコ停留所】

## 自宅から自宅までが可能

令和5年4月3日から「チョイソコ・まつかわ」が町内を走っています。鮮やかなラッピング車両は、遠くからでも目につきますね。車が無ければ暮らせない当地方にとっては、免許返納などで運転ができない高齢者の足の確保は、切実な課題となっています。

この度、町と公共交通対策協議会では、より利用しやすい公共のシステムについて検討し、「デマンドタクシー」の導入となったものです。停留所まで歩くのが大変だったり、荷物を持って家まで帰るのが負担だった福祉バスの短所が、解消されました。

## 町内業者に委託

これまで、福祉バスの運行を担当していた伊那バスとマルモタクシーにより、デマンドタクシーの運行がされています。

## 利用者登録が必要

料金は1回500円

利用の予約は、当日1時間前までに電話などで予約します。

## 利用状況は？

- ・会員登録者数：525人
- ・1日平均利用者数：14・2人
- ・利用の多い目的地：
  - 日赤病院、米山歯科医院、地域活動センターあすなろ、伊那大島駅、中塚医院
  - …となっています。

## 利用者年代：

80歳代が圧倒的に多く、次が90歳代です。

## 利用者の声は？

- ・自宅から自宅へタクシーより安く乗せてもらえて、ありがたい。
- ・電話を掛けるのが面倒。
- ・現金のやり取りが、面倒に感じる。
- ・町外の通院や買い物にも使いたい。
- ・帰りの予約が、煩わしい。
- ・運賃が高い。
- ・行きたい所に停留所が無い。
- ・ウェブ画面が、分かりづらい。

## ★議会の視点

利用者の声を反映し、きめ細かい対応が必要だと思う。

# 令和5年 第2回臨時会 異例 副町長に現職議員が選任される！

5月12日に開会された臨時会では条例の一部改正、補正予算の専決処分の承認、繰越明許費計算書の報告、副町長の選任、教育委員会委員の任命などが行われた。副町長に現職議員を登用することには異論の声が続出した。

(専決第1号)令和5年度一般会計補正予算(第1回)  
58億5,000万円(補正前)+843万6,000円(補正額)  
=58億5,843万6,000円

歳入 (単位：千円)

項目	補正前の額	補正額	金額
国庫補助金	389,943	8,436	398,379
歳入合計	5,850,000	8,436	5,858,436

歳出 (単位：千円)

項目	補正前の額	補正額	金額
民生費	1,663,393	8,437	1,671,830
予備費	61,816	△1	61,815
歳出合計	5,850,000	8,436	5,858,436

## 北沢町長初の議会場で決意を表明

一町のため4年間全力で駆け回っていききたい

午後1時から本会議が開催され新議員が加わったための議席の指定が行われ、会期の決定の後、北沢町長のあいさつがあった。「町を何とかしてほしい、良い町を作ってほしい」という多くの声に押し

られて決断した。今この場に立っているこの思いを胸に、議会の皆さんと建設的な議論を重ね、丁寧な説明を心掛けるが、より良い方向を目指したい。」と述べた。

## 副町長に黒澤議員

副町長に現職議員黒澤哲郎氏を選任する人事案が提出され、賛成7反対5の賛成多数で同意された。

## 反対討論

補欠選挙でようやく欠員がなくなった議会から副町長を選任することは、議会軽視とは思えない。

(米山郁、松井議員)

## 賛成討論

現職議員からの一本釣りとはどうかと思うが、人物としては申し分ない。町長の片腕を選ぶのは町長に任命権があり問題ではないが、結果として議員が一人欠けたことの町長の責任は大きい。

(森谷、加賀田、米山俊議員)

## 専決処分事項の承認

専決処分として「松川町税条例の一部を改正する条例の制定」「国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定」「令和5年度一般会計補正予算(第一回)」について審議がなされ、いずれも承認された。

## 報告事項

令和4年度一般会計

## 教育委員の任命

繰越明許費繰越計算書、令和4年度水道事業会計予算繰越計算書、令和4年度下水道事業会計予算繰越計算書の報告があった。

松川町教育委員会委員に上片桐在住

矢澤 満氏(63歳)

の任命に同意した。



第2回臨時会



# 令和5年 6月定例会 令和5年度 第2回・第3回補正予算案可決！ 商工観光に多額の補正……一般会計

令和5年第2回6月定例会は6月13日から29日まで開催され、令和5年度一般会計補正予算(第2回・第3回)などを、総括質疑と各委員会の審査を経て、最終日までに可決した。

項目	補正前の金額	補正額	補正後の金額
一般会計補正予算(第2回)	58億5,843万円	5億3,080万円	63億8,924万円
一般会計補正予算(第3回)	63億8,924万円	824万円	63億9,748万円
介護保険事業特別会計(第1回)	13億9,056万円	補正収支計0円	13億9,056万円
信州まつかわ温泉 清流苑事業会計(第1回)	資本的支出100万円	2,000万円	2,100万円
水道事業会計(第1回)	資本的支出1億9,039万円	709万円	1億9,749万円
下水道事業会計(第1回)	事業費用5億5,646万円 資本的支出5億2,497万円	703万円 1,072万円	5億6,350万円 5億3,569万円



**商工業振興費**  
3千345万円  
新井商店街の活性化対策など。



**女性模擬議会**  
18万6千円  
女性が町政へ意見を届ける場を作ります。

## 主な補正内容



**およりての森関連事業**  
1千542万円  
およりての森一帯を森林公園とするもの。



**清流苑大規模改修設計委託料**  
2千万円  
清流苑を大規模改修するための設計委託料。

# ここが聞きたい！

## 補正予算総括質疑

**子育て支援訪問  
支援事業とは？**

**質問** この事業は役場の職員が訪問するのか、または委託するのか。

**答弁** 子育てに不安のある世帯へ専門のヘルパーを派遣する。ヤングケアラーにも対応する。

**費用は、国2分の1、県と町で4分の1を負担する。**

**電子黒板購入とは？**

**質問** 学校関係で、電子黒板の購入がされるが、台数や用途を知りたい。

**答弁** 中央小11台、北小2台、中学校9台の

購入で、理科室などの特別教室用に購入する。これにより、全教室に設置される。

**フォレストアドベンチャーの改修、今必要なのか？**

**質問** 大規模な改修の内容について聞きたい。

**答弁** 改修をして客を呼び込みたい。ファミリー層受け入

れ拡大と安全性向上のための改修をおこなう。

**ICT支援員  
どのようにな？**

**質問** ICT支援員は民間を使うのか、教員のOBなどを使うのかを聞きたい。

**答弁** 現在は中学校1名、小学校1名いるが、教員OBの方は教え方には長けているが機器に弱い面がある。したがって今回の補正では、機器に強い支援員を、もう1名雇用し、計3名とする予定である。

## 令和5年度 国保税…今年も引き上げ

医療分の平等割…1200円…引き上げ  
均等割…1000円…引き上げ

約半数の世帯が該当する平等割、均等割軽減に対する所得制限基準が、若干引き上げられた。

## 松川町議会！

## 『イクボス・温かボス宣言』 を決議！

育児介護などについて、男女関係なく担える社会を目指して、町民の代表である議会が率先して行動するよう宣言。



宣言は県下2例目

## 請願陳情の審査

①「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願は、全員賛成で採択した。

②「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願は、全員賛成で採択した。

③町立保育園の未満児保育受け入れ基準の見直しを求める請願は賛成6、反対5で採択した。

## 人事承認

議会選出監査委員

坂本 勇治 氏

固定資産評価委員

黒澤 哲郎 氏

議会がこのような宣言をしたのは、長野県では箕輪町に続き、2例目。

# だより

## 総務産業建設 常任委員会

21日(水)社会文教常任委員会を行い、それぞれ  
て現地調査も実施した。

と審査を分担し、能率的に処理するために設置された機関。

総務産業建設常任委員会は、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・リニア対策課・建設水道課・議会事務局の分野を担当している。

### 質問・意見

### 答 弁

#### 集落支援員の活用について

①支援員設置の費用として5人分2,225万円が特別交付税増として計上されている。便利な制度だが明確なビジョンを示すべき。

①財源の確保が最重要であり、採用できれば活用していきたい。  
その後の人材活用についてはビジョンを明確に示しながら進めていきたい。

#### およりの森遊歩道照明整備事業について

②工事の具体的な内容、街灯の点灯時間、自然環境への配慮は。

②虫・動物の観察、星空観測や大の字広場でのイベントが目的。約1,000mの間を20m間隔で足元を照らすLED灯を設置。点灯は4月～11月の18時～21時を予定。森林アドバイザーの理解を得ているが今後もしっかりと対応していきたい。

#### 旧松川青年の家施設あと利用基本計画について

③外部コンサルタントへの委託料として105万円計上されているが、コンペで決定した事業者が払うべきでは。

③あと利用について、周辺エリアを含め専門家を入れて基本計画を策定したいとの意向があった。計画策定の補正予算ということでご理解いただきたい。

#### 観光地域づくりマーケティングについて

④委託料として当初予算で200万円、今回700万の増額となっている。今年度から町の単独財源となっているがなぜか。

④当初予算には必要最低限の額で計上した。要望額は900万だったので復活計上をした。デジタル田園都市構想に事業計画を上げているので、内示が出た段階で財源補正をおこなう。

#### 審査を付託された議案 令和5年度

- ①一般会計補正予算(第2回)
- ②水道事業特別会計補正予算(第1回)
- ③下水道事業特別会計補正予算(第1回)

#### 調査・研究

道路概略設計を計画している町道御鋤原線、道路測量・詳細設計を計画している町道大草線の2路線について調査を実施した。

付託をされた令和5年度一般会計補正予算、水道事業特別会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算については全員賛成。付託を受けた議案は委員会として原案通り認めることが妥当と決した。



町道御鋤原線の改良説明を町側から受ける



## 社会文教 常任委員会

社会文教常任委員会は、住民税務課・保健福祉課・教育委員会(子ども課・生涯学習課・図書館資料館)・会計室の分野を担当している。

# 委員会

6月19日(月)に総務産業建設常任委員会、6月付託された議案について審議した。委員会判断に  
※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に調査

### 質問・意見

### 答弁

- ①結婚新生活支援事業180万円は国の支援事業であるが、町独自の追加支援はあるのか。
- ②名子児童館のエアコンは、今迄に何台か設置されている。今回の設置場所は。
- ③新規事業である子育て世帯訪問支援事業委託の内容と委託先は。
- ④療育センターひまわりに対しての交付金は利用人数割で負担をするのか、それとも町の人口規模で負担をするのか。現状の利用人数は。
- ⑤新型コロナウイルスワクチン接種事業で、長野県が行っていた個別接種協力金の支払い業務が町へ移行されるとのことである。670万円は1年分の計上か。

- ①町独自の追加支援はないが、若者定住住宅取得祝金制度と合わせて使って頂きたい。
- ②子どもたちが利用するスペースに設置してきた。今回はエアコンがついていない調理室に設置する。
- ③家事・育児などに対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラーのいる家庭を対象にヘルパーを派遣、家事負担の軽減や相談を受ける。委託先は社協を予定。
- ④通所の人数と通所日数を市町村で割って案分計算する。令和3年度実績は全体の通所人数36人で松川町が5人、通所日数は5,531日で松川町は532日である。
- ⑤金額は県から示された昨年度の実績に基づき計算したもの。5月からが対象となり、接種回数実績により、町から該当する医療機関に支払いしていく。

審査を付託された議案 令和5年度  
一般会計補正予算(第2回)  
介護保険事業特別会計補正予算(第1回)

#### 調査・研究

中央小学校5年生の英語と社会科の授業を見学した。久しぶりの授業風景はタブレットを使いこなした新しい授業「\*アクティブ・ラーニング」であると実感した。

付託された議案は、一般会計補正予算と特別会計補正予算は全員賛成で、委員会として原案通り認めることが妥当と決した。

請願2 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願。

請願3 「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願。

請願2・3については全員賛成で採択すべきものとした。

請願4 「町立保育園の未満児保育受け入れ基準の見直しを求める請願」については反対3、一部採択2で不採択とすべきものとした。



タブレットは楽々操作  
たのしい授業

# 議 決 結 果

## 令和5年 第2回臨時会議決結果

### ●全員一致で議決されたもの

承認	件 名	結果	内 容
承認	松川町税条例の一部を改正する条例の制定 国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	賛成	地方税法等の一部を改正する法律の施行によるもの。
承認	令和5年度一般会計補正予算(第1回)	賛成	843万円を追加し、58億5,843万円とする。
選任	松川町教育委員会委員の任命について	同意	松川町在住：矢澤 満氏

### ●多数意見により議決されたもの

賛成○ 反対●

件 名	星野光洋	塩沢貴浩	米山義盛	加賀田亮	米山郁子	川瀬八十治	黒澤哲郎	大蔵洋	坂本勇治	森谷岩夫	米山俊孝	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容	
選任	副町長の選任について	○	●	○	○	●	○	退席	●	○	○	○	●	●	可決	松川町在住：黒澤 哲郎氏

## 令和5年 第2回定例会議決結果

### ●全員一致で議決されたもの

承認	件 名	結果	内 容
承認	松川町税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	地方税法等の一部を改正する法律の施行によるもの。
令和5年度補正予算	一般会計補正予算(第2回)について	可決	5億3,080万円を追加し、63億8,924万円とする。
	介護保険事業特別会計補正予算(第1回)について	可決	一般会計予算内の予備費を充当し、歳出額13億9,055万円
	水道事業会計補正予算(第1回)について	可決	資本的収入 8,580万円 資本的支出 5,628万円
	下水道事業会計補正予算(第1回)について	可決	収益的収入 5億5,996万円 収益的支出 5億6,350万円 資本的収入 3億1,945万円 資本的支出 5億3,569万円
	一般会計補正予算(第3回)について	可決	824万円を追加し、63億9,748万円とする。
締結	辺地に係る整備計画の変更について	可決	当該辺地地域を整備することにより、交流人口の増加や観光販売の促進による産業振興など、地域の活性化を図るもの。
選任	監査委員の選任について	同意	議員選出監査委員：坂本 勇治議員
	松川町固定資産評価員の選任について	同意	副町長：黒澤 哲郎氏
請願	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願	採択	松川町教職員組合 代表者：今井 正広氏
請願	「さらなる少人数学校推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願	採択	松川町教職員組合 代表者：今井 正広氏

### ●多数意見により議決されたもの

賛成○ 反対●

件 名	星野光洋	塩沢貴浩	米山義盛	加賀田亮	米山郁子	川瀬八十治	大蔵洋	坂本勇治	森谷岩夫	米山俊孝	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
条例	松川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決	国民健康保険税率の改定によるもの。
補正予算	令和5年度松川町信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算(第1回)について	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決	資本的収入 2,000万円 資本的支出 2,100万円
請願	町立保育園の未満児保育受け入れ基準の見直しを求める請願	○	○	○	○	●	○	○	●	欠	●	●	採択	松川町在住：小澤 希枝子氏
発議	イクボス・温かボス宣言に関する決議	○	○	○	○	○	○	●	○	欠	○	○	決議	提出者：米山 郁子議員

## 4月～6月 主な議会日程

- |  |  |
|--|--|
| <p>4月3日(月) 広報部会<br/>5日(水) 広報部会<br/>10日(月) 議会改革推進会議<br/>14日(金) 議会全員協議会、議員協議会<br/>5月1日(月) 議会運営委員会<br/>9日(火) 議会全員協議会、議会運営委員会<br/>10日(水) 議会改革推進会議<br/>12日(金) 議会全員協議会、第2回臨時会、議会運営委員会<br/>25日(木) 議会運営委員会<br/>26日(金) 広報部会、議会用タブレット研修会</p> | <p>6月1日(木) 総務産業建設委員会<br/>5日(月) 社会文教委員会、議会改革推進会議<br/>6日(火) 議会全員協議会、議員協議会<br/>8日(木) 広聴部会、議会運営委員会<br/>13日(火) 議会全員協議会、第2回定例会閉会・総括質疑<br/>19日(月) 総務産業建設常任委員会<br/>21日(水) 社会文教常任委員会<br/>26日(月) 第2回定例会一般質問、議会運営委員会<br/>28日(水) 広報部、議会改革推進会議<br/>29日(木) 議会全員協議会、第2回定例会最終日</p> |
|--|--|



# 各委員会との意見交換会を実施

議会では議会組織改編にあわせて、行政から委嘱を受けた委員会との意見交換会を実施している。コロナ感染症の影響でここ数年実施することがなかったが、社会文教常任委員会では3月末に教育委員会、4月に民生児童委員、結婚相談委員の皆さんと意見交換会を実施した。

然環境を使った体験の実施を要望した。

5組に分かれグループワーク形式で意見交換をおこなった。

## グループワーク形式で 民生児童委員会

今回の意見交換会では事前に民生児童委員から30件の質問状が届き、行政と議会が分担して回答書を作成。

民生児童委員と議員は地域の状況を共有し情報をお互いに伝えていく必要がある。児童委員としての役割部分が薄い、授業参観など学校の様子を知りたいとの要望意見が出された。

## 16人が6地区で活躍 結婚相談委員

結婚相談委員会では毎月定期的に結婚相談日を設けているが、町の状況として相談に来る人数も減ってきている。「愛ねつと北部」

できない。これからの結婚相談委員の在り方について見直しが必要であるとの意見があった。

## 結婚相談委員数

地区	人数
古町地区	1
上新井地区	3
名子地区	3
上大島地区	3
上片桐地区	3
生田地区	3
合計	16

## 松川町結婚相談所登録者数

(令和4年4月末現在)

性別	登録者
男性	33
女性	11
合計	44

## 令和5年度教育方針は 教育委員会

初めに子ども達の状況として、特別な教育支援を必要とする児童生徒について報告を受けた。小中学校の児童数は昨年より14人増であったが、令和6年では60人減の予測であるとの報告を受けた。少子化対策が急がれる。

令和5年度は「松川町を誇りに」を重点指針とし、コロナ感染症の影響で町や人との繋がりが希薄になっていったが、もう一度取り戻す取り組みを進めていく必要があるとしている。



シャボン玉に夢をたくして

## 松川町議会議員に 新たな議員加わる



星野光洋議員

令和5年4月23日松川町議会議員補欠選挙がおこなわれ、新たに松川町議会議員として星野光洋議員が加わることとなった。

担当・総務産業建設常任委員・広報広聴委員会広報部長

## 青崩峠トンネル 有志で三遠南信自動車道を視察

三遠南信自動車道は、第四次全国総合開発計画(1987年策定)で提唱された交流ネットワーク構想を推進するため、全国的な高速交通体系である高規格幹線道路網に位置づけられた一般国道の自動車専用道路である。高速交通体系に取り残された地域への高速サービスの提供と奥三河・北遠州・南信州地域の開発、発展に寄与する道路として期待される。3月22日・23日に天竜峡パーキングから浜松市へと現在進行中である現状を視察した。



最新工法を見学

### 三遠南信の概要

三遠南信自動車道は、長野県飯田市山本の中央自動車道を起点として、静岡県浜松市北区引佐町の新東名高速道路までを結ぶ延長約100kmの高規格幹線道路。

新東名自動車道と中央自動車道を結ぶ広域ネットワークを構築するとともに、三遠南信地域の交流促進、連携強化、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援を目的として計画された道路であり、今後地域に大きな役割を果たすことが期待されている。

### 期待される4つの効果

#### 効果1

#### 広域交流の促進、三遠南信地域の連携強化

県境付近は高速ICアクセス60分カバー圏域に達していない。三遠南信自動車道の整備により、北遠・奥三河地域、下伊那地域のIC60分カバー圏の人口がほぼ100%となり、人口割合が大幅に増加し、飯田市・浜松市などの都市間の速達性が向上する。



5月26日に貫通した青崩トンネル

#### 効果3

#### 救急医療サービスの支援

三遠南信地域のうち、長野県と静岡県との県境付近の地域は、高速道旧上村・旧南信濃村の救急出動件数は年々増加傾向にあり、その搬送人員の約8割が高齢者である。青崩峠道路の整備により、平成22年7月豪雨災害時のような通行止めが発生しても、静岡県側の病院へのアクセスが確保される。

#### 効果2

#### 災害に強い地域間ネットワークの構築

国道152号の長野県と静岡県境の区間は通行不能区間となっているため、越県するには狭隘で脆弱な市道を利用する必要がある。また、三遠南信地域は事前通行規制区間が多く、災害時に連絡できる道路がない。青崩峠道路の整備により、狭隘で脆弱な市道を回避することができ、より災害に強い広域防災ネットワークが構築される。



三遠道路8号橋

#### 効果4

#### 地域活性化の支援

国道152号沿線の遠山郷周辺は多くの観光資源を保有し、観光客の来訪は年間23万人で近年増加傾向である。遠山温泉郷の観光客の約6割は静岡・愛知県からの来訪者であり、地域活性化に繋がる。

青崩峠道路が開通することにより、4つの効果があることを改めて知る機会ができた。長野県側も貫通し開通が待たれる。松川町大鹿線や153号線も拡幅ではなくトンネルや橋を使った大胆な道路計画が必要である。飯伊での広域的な働きが重要になってくる。今後も議会として粘り強く要望していく。



令和5年5月29日(月)エスバードにおいて南信州広域連合議会第1回臨時会が開催された。市町村議会編成による委員の変更と付議案件として令和4年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計補正予算(第3号)の専決処分、監査委員の選任についての2件がそれぞれ承認された。続いて全員協議会が開催され10項目の報告を受けた。

## 報告・協議事項

- (1) 令和5年度の職員体制について
- (2) リニア中央新幹線について
- (3) 株式会社南信州観光公社の運営状況
- (4) 飯田創造館閉館への対応状況について
- (5) 南信州リニア未来ビジョンについて
- (6) 図柄入り南信州ナンバープレートへの対応について
- (7) 構成市町村の職員共同採用試験について
- (8) 看護師等確保対策修学資金貸与事業について
- (9) 稲葉クリーンセンターの運営状況について
- (10) 飯田広域消防本部から

主な内容としては、飯田創造館閉に伴い、

旧地場産業センターの一部を提供する用意があること、その具体的な検討のため「長野県広域連合、創造館利用団体の皆さんとの協議の場」を設置する提案がされた。新たな試みとして今年度は令和6年度の行政保健師採用に向けて6市町村で共同での採用試験が実施される。また、介護の仕事に関心のある方と介護人材を求める事業所の確保のマッチングを図るため「介護のごと相談会」が実施された。



## 令和5年度 第1回 下伊那北部総合事務組合議会臨時会 管理者に北沢松川町長、議長に中平氏就任

(担当：間瀬重男)

### 全員協議会

令和5年5月30日北部議会全員協議会が臨時会に向け、10時より開かれた。挨拶に続き、自己紹介が行われ、協議事項で次のようなことを協議した。

- ・リニアを見据えた北部街づくり構想アクションプランについて
- ・令和4年度火葬場の運用実績について
- ・議会への上程案件
- ・コロナウイルス感染者などの死亡に関わる火葬の取り扱いについての報告。

### 臨時会

#### 専決処分案件

臨時会は11時より議場で開会され、開会議事日程の報告の後、北沢管理者はいさつで、リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の交通網を機軸に、北部まちづくり構想アクションプランを押し進めていきたいと述べた。

報告第一号「事務組合に關係町村の条例を準用する条例の一部改正」の専決処分案件が上程され全員賛成で承認された。

#### 監査委員の選出

事務組合の監査委員の選任では大鹿村議会議長の河本明代氏が選出され同意した。

#### 正副議長選挙

議長に松川町議会議長中平文夫氏、副議長に喬木村議会議長後藤章人氏が当選された。

所信を質す!

# 一般質問

## 1. 坂本勇治 (13ページ)

- ・町が活性化するためのインフラ整備をどう考える

## 2. 間瀬重男 (14ページ)

- ・新町長施政方針を問う
- ・新井西線の延伸と町道4号線改良は

## 3. 米山郁子 (15ページ)

- ・リニアを見据えた北部まちづくり構想での松川町の役割は

## 4. 塩沢貴浩 (16ページ)

- ・公共の場で安心・安全確保に関する考え方について

## 5. 星野光洋 (17ページ)

- ・広報の現状と今後の取り組みはどうか?

## 6. 米山義盛 (18ページ)

- ・北沢新町政の子育て支援策を問う

## 7. 加賀田亮 (19ページ)

- ・目標に掲げた政策の具体的実践手法を問う

一般質問は議員が町長などに対し、事業の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をただし説明を求めるものです。

6月定例会では7人の議員が質問をしました。

スペースの都合上質問者の責任において質問、答弁を要約して掲載しています。

## お知らせ



### 今月の表紙

登山シーズン到来!松川町のシンボル、烏帽子岳、小八郎岳の今年の登山の安全を祈願する開山式が行われました。頂上に登ると伊那谷を南北に広く見渡すことができます。

町民の小八郎岳登山が7月29日(土)に行われますので、ぜひご参加を。お問い合わせは松川町公民館「えみりあ」へどうぞ。

### 議会の様子がYouTubeで見られます

「松川町議会」と検索していただくと過去の本会議、全員協議会、委員会、各議員の一般質問の様子を御覧いただけます。ぜひ、検索してみてください。



議場に導入された大型モニター

### 議会サポーターメンバー募集

議会では町民の皆様に町政に関心を持っていただき意見交換をするために、ラインメンバーを随時募集しています。どなたでも参加できます。スマートフォンのラインを利用します。お気軽にご連絡ください。

議会サポーター応募先アドレス  
<https://onl.tw/3nXkpQH>







坂本勇治 議員

## 問 町の活性化のためのインフラ整備をどう考える

答 インフラ整備は極めて重要だと考えている

町の活性化のためには人口減少問題が最優先だ。住みやすい町、住んで良かった町、子育てしやすい町、将来に希望が持てる町、そんな町の理想に繋ぐための一つには、働く場所の確保、安定した収入が必要だ。インフラ整備に投資し、将来の企業誘致や、住みやすい町を作り、安定した人口と自主財源の確保に繋いで行くべきだ。

### いっばん質問

(問) 住みやすい町づくりや企業誘致のためのインフラ整備の進め方は。

(町長) 県道飯島飯田線バイパスや、国道153号線など事業実施に向け、国県と協議を始めている、町の政策課題として、上位に位置づけ、担当課だけでなく、政策会議のなかで早期に、町の発展に繋がる土地利用計画を示していく。

(問) 土地開発公社が機能していない、有効に活用されていない土地が町内には有る、公社を活用した町づくりへの考えは。

(町長) 人口増対策、企業誘致など、今後の政策における重要課題の解決のため、土地開発公社を積極的に活用していく。



民地の確保が課題か

(問) 広域農道の松川大橋南交差点から町道284号線交差点までの県道上片桐停車場線の用地交渉と道路改良の現状は。

(町長) リニア発生土の運搬ルートであり、改良のための用地交渉を、リニア対策課で実施している。東西を縦断する道路の一つとして重要な路線であり、事業実現に向けて地権者との交渉を進め、さらに県へ働きかけていく。

(問) 町道284号線のJ R飯田線下の狭隘部分の改修は。

(町長) この区間の改良は、車両歩行者の安全かつ円滑な通行には不可欠なものであり、東西を結ぶ重要な路線でもある。国土交通省、J R東海により当箇所

に関する調査設計に関する基本協定が締結され、協議が始まっている。町も事業実現に向

け、国県、J R東海と積極的に協議をし、円滑に事業が進捗するよう協力していく。

(問) 県道上片桐停車場線の松川大橋南交差点から飯島飯田線の拡幅工事について考えは。

(町長) 要望として認識はしているが主要地方道飯島飯田線上片桐バイパスの先線を最優先としている。



早期改良に期待

## 問 少子化、人口増対策をどうする

## 答 この町に戻り住みたくなる教育が必要



間瀬重男 議員

4年余り続いた、新型コロナウイルス感染症による、世界的な生活不安や、社会経済活動危機は現代社会において、かつてない悲劇に値する歴史的な出来事であった。それを乗り切ってきた町政運営は、並々ならぬ努力であったと敬意を表する次第である。このたび停滞した町政をどうにかしたいとの思いで町長になられた北沢町長に祝意と期待を表し、施政の一端を問うものである。

## いっぱん質問

**(問)** 全国的流れのなかで少子化対策をどうするか。

**(町長)** 町では2010年から2020年の10年間で児童生徒の数が24・4%減少している。

政策として子育て支援や住む場所の確保が必要である。国としての対策として給食費の無償化や児童手当について検討しているが、国の政策を注視しながら、さらに松川町を選んでいただくために特色ある教育を政策として進めていきたい。

**(問)** 少子化対策を考えるには転出を抑え転入を増やさなければならぬが、人口増対策をどう考えておられるか。

**(町長)** 人口減少のなかで高校卒業後に外へ

出ていく20代30代前半の皆さんの転出が非常に多いと思うが、外に出たいのは当然であり逆に外を見てきてほしいと思っている。特色ある教育を身に付けて町へ戻ってきたいと思ってもらえるような取り組みを考えていきたい。

**(問)** 企業誘致も人口増対策と考えるが取り組みは。

**(町長)** 働く場所確保は公約であり、リニアや三遠南信自動車道開通による利便性や優れた景観、美味しい果物、日照時間の長さなどを売り物に、工場等設置事業補助金などをPRして場所の確保をしていきたい。

**(問)** 元国土交通省官舎が11棟ある。移住定住や人口増に活用すべ

きで、即改修できる物件であるが。

**(まちづくり政策課長)**

平成27年に国から有償譲渡され5棟を、29年に改修体験住宅2棟、促進住宅に3棟、利活

**(問)** 新井西線と町道市の坪線の改良計画は

**(答)** 早急に事業実現に向け努力して行く

**(建設水道課長)** 新井

西線については宮坂交差点の信号付き改良が完成したが北への延伸計画は今のところない。町道市の坪線については平成12年からJR唐沢陸橋から2車線化し令和元年度に58号線交差点まで改良された。国道までの事業については上新井区や地元滝ノ沢自治会か

ら正式に要望書が出ている。現在担当課で事業実現に向けて課題を整理している。早急に改良できるよう努力していきたい。



早期完成を期待する市の坪線





米山郁子 議員

## 問 リニアを見据えた北部まちづくり構想とは

## 答 5町村でリニア効果を最大限に生かす

令和5年は第5次松川町総合計画(改定版)の最終年度で第6次松川町総合計画を作成する年度でもある。北沢町政として、北部まちづくり構想を視野に入れ、町長の公約や方針とリンクさせ、住民が期待できる内容のある総合計画の作成を期待する。

### いっぱん質問



松川町の特徴をどう盛り込むか期待

**(問)** リニア駅や上伊那地域へのアクセスおよび重要物流路線の整備として、リニア駅を結ぶアクセス道路についてのお考えは。

**(町長)** 153号線は飯島町本郷地区から高森町下市田地区の約18キロ区間について、令和元年度に関係する飯島町、中川村、高森町と共に、期成同盟会を

設立し、国の直轄事業として4車線化に向け、長野県に要望活動を実施している。

**(問)** 少子高齢化社会にあって、子どもが地域で学び、就職できるための高等教育機関などの誘致に取り組むことは。

**(町長)** 南信州広域連合として信州大学新学

部の誘致を推進している。保育園、小中学校、松川高校などで町全体の特色ある教育として学園化構想を位置付け取り組んでいる。

**(問)** 子どもから高齢者まで、住民が安心して利用できる医療の提供として下伊那赤十字病院と下伊那厚生病院との連携は。

**(町長)** 北部ブロックに存在する2つの病院は、それぞれ不足している医師を派遣し、補う取り組みをしております。今後も協力体制は強化する必要がある。

**(問)** 新たな働き方、暮らし方を提案し、移住者や交流人口の増加を図る取り組みとは。

**(まちづくり政策課)** 地域おこし協力隊として農業従事者の育成

が松川町の特徴と言える。農地付き住宅の提案やU・J・Iターン対策としては、南信州暮らし応援隊を中心として、南信州を一体としてPRして取り組んでいく。

**(問)** 地域における貴重な財産を次世代に引き継ぐため、担い手の育成に取り組むことは。

**(町長)** 町の貴重な財産ブランドを守り育てることが、町の持続と発展に繋がると考えている。守り育てていくのは人であり、町民である。若い世代に地域の魅力を伝え、愛着を持たせる取り組みをしていく。

**(教育長)** 松川町の人・もの・ことを学びの中心とし、地域の人や地域の産業と関わりを持ち、総合的な学習のなかで展開していく。

## 問 公共施設の使用を安全・安心に

## 答 費用対効果を見極め適切に進める



塩沢貴浩 議員

公園、グラウンド、運動公園など町の公共施設はたくさんあるが、安全・安心に使えているのか。また中央公民館などを避難所として使用する際の現状を質問した。

### いっぱん質問

(問) 清流苑、むらやま公園エリアの今後の方向性と町内の公園の維持管理の考え方は。

(町長) 清流苑エリアは今後も集客が望まれる。更なる充実を図っていききたい。町内の公園に関しては毎年の遊具の点検、危険性があればその都度、改修・撤去を行っている。今後は森林環境譲与税も活用し、より安心な運営を心掛けていく。

(問) 公園には綺麗なトイレも重要と考える。

(町長) トイレ新設には、その後の清掃など維持管理が必要になる。必要な場所は検討していくが慎重に進めたい。

(問) 公園、グラウンド、運動公園など安心して使えるようAEDの設置が必要と考える

が。

(総務課長) 上片桐の町営グラウンドは隣の改善センター、北小学校、生東グラウンドは隣の生東会館のなかに設置がしてある。運動公園、テニスコートはAEDの屋外設置ボックスを寒冷地仕様や盗難のおそれのため設置はしていない。貸出用のAEDで対応をいただいている。

(問) 救急救命の啓蒙、講習や周知なども大事になるが町の対応は。

(総務課長) 先日の消防団の総合防災訓練ではAEDを使った初の訓練があった。これは継続の必要があると考えている。また行事の主催者には重要性を理解してもらい貸出用のAED2台も含めて対応していきたい。費用

対効果も含め、常設も検討していくがまずはしっかりと使えるようにしたい。

(問) 公共施設が避難所として使われる場合、テレビの視聴やWi-Fi設置が必要と考えるが現状は。

(総務課長) Wi-Fiに関しては、チャンネル・ユーの光化工作を契機に町内16カ所の指定避難所の整備を行うよう検討を進めている。年間で160万円ほどの予算がかかるので検討する必要がある。テレビはNHKの受信

料の関係で引込工事までを行う方向を考えている。

(問) 地域活動のデジタル化には施設のWi-Fi設備と各家庭のWi-Fi設備が必要になってくる。チャンネル・ユーに割安のプランの提示は可能か。

(まちづくり政策課長) 現在の加入率は63.7%で、この加入率、利用率の促進も含め協議を進めている。チャンネル・ユーのPRを含め、番組の充実を図れるよう促していく。



常設か貸し出しか





星野光洋 議員

## 問 広報の現状と今後の取り組みはどうか

## 答 既存の広報に加えSNSなども強化していく

議員として町に携わるなかで知る情報が多くある。町民や町外の方にそれが広く正確に伝わっているか疑問だ。必要な方に伝わってこそその情報と考える。現在の広報の現状と、既存の広報を今後どう強化していくのか。またあたらしい広報手段を考えているのかを聞いた。

**(問)** 各世代で情報を受け取る手段が異なると感じる。町民がどんな手段で情報を得ているのかを町では把握しているか。

**(町長)** 広報まつかわは各自治会を通じ全戸配布に加え、町内施設などに設置。自治体広報アプリ「マチイロ」で電子版として掲載もしている。SNSはフェイスブック、インスタグラム、ツイッターを町の公式アカウントで運用し、20〜60代の方に多くフォローされている。現在各世代の情報取得の実態を把握するためのアンケート調査を行っており、それを踏まえ年代に合わせた発信方法を年度内に検討していく。

開設された。町の現状を踏まえたあたらしい広報手段は検討しているのか。

### (まちづくり政策課)

今後、SNSのLINEにおいて登録をすると町民個々が要請を待たずに必要な情報をお知らせすることができる「プッシュ型」というシステムを導入する予定。今まで得られにくい情報発信手段の弱点を強化していく。

**(問)** 現在、まちづくり政策課で広報を担当している方の人数は。

### (まちづくり政策課)

まちづくり政策課の広報担当として4人が動いている。それだけでは十分に情報収集ができないため、各公民館や各課に広報の編集委員を設け、その担当が情報収集、発信をす

る体制づくりに現在取り組んでいる。

**(問)** 行政からの広報に加え、町民の面白い取り組みなどを情報発信していくことも大切と考える。その情報収集はどのように行っているのか。

### (まちづくり政策課)

町の職員一人一人がアンテナを張って、情報収集、発信につなげていく。

**(問)** 町外への情報発信もまた重要と考える。メディアなどへの情報

発信は現状どのように行っているか。

### (まちづくり政策課)

各メディアへのプレスリリースとして毎週木曜日の夕方までに次の行事予定を送っている。テレビ局などなかなか取り扱っていただけないのが現状。より多く放送、記載していただくための方法を検討していく。

**(意見)** 情報発信には「ズク」が必要。また情報自体に「楽しさ」や「面白さ」が伴うことも大切と考える。

## いっぱん質問

**(問)** 新井商店街のポータルサイト「つながる商店街」が3月に



松川町の情報も知れるアプリ「マチイロ」

# 問

## 北沢新町政の子育て支援策は

# 答

## 子育て支援の上で前向きに検討したい



米山義盛 議員

北沢町政が誕生し、その施策の柱の1つに「子育て支援策」を挙げているが、どのような具体策を考えているかを問う。昨年の我が国の合計特殊出生率が1.26との報道に大きな衝撃を受けた。国を挙げて少子化対策が急がれている。そのなかで当町の施策を考えたい。

### いっぱん質問

**(問)** 子育て支援を第一に挙げている町長のこれからの戦略について総括的な答弁を。

かかるかについては、今後の検討課題であると考えている。

**(町長)** 町の子育て支援事業を近隣市町村と比較するなか、松川町が充実しているものと消極的なものと整理し、年齢や結婚、妊娠出産、乳幼児期、学齢期ごとの制度の壁にとらわれず、切れ目のない包括的な支援体制の整備を検討し、財源を確保し検討していく。

**(問)** 町独自の高等教育進学者への奨学金制度について、その発足からかなり経過しているが、今後の改定など方策は。

**(子ども課長)** 昭和46年から制度は始まっており、段階的に対象者や貸付金額を広げている。現行制度は平成28年度に改定し、高校は月額2万円以内、大学が月額5万円以内の貸付金額で、無利子で卒業の1年後から貸付を受けた期間の3倍の期間内に返還する制度となっている。現行制度は平成28年度以降で、年間平均18件貸付金額840万円で推移している。奨学金返済へのふるさと学費応援補助金は、平成28年か

**(問)** 学校給食無償化について、国・県の動きは定かでないなか、松川町での可能性については。

**(子ども課長)** 現在でも補助金を出す方向で検討している。その補助金に加え、町が補助していくか、また町独自で国に先行して取り

かかるかについては、今後の検討課題であると考えている。

ら開始し、令和4年度で63件216万6千円の補助金となっている。

**(問)** 保育園保護者の負担軽減のために考えられる方策はあるのか。

**(子ども課長)** 給食費の軽減、オムツの処理など具体的な方策を今後検討している。

**(保健福祉課長)** 限られる財源を各政策のバランスを考慮し進める必要がある、自己負担なしの全額自治体負担をしている動向も鑑み松川町でも検討する。

**(問)** 子ども医療費のレセプト代300円負担をなくす方向性はお持ちか。

**(保健福祉課長)** 限られる財源を各政策のバランスを考慮し進める必要がある、自己負担なしの全額自治体負担をしている動向も鑑み松川町でも検討する。



北小学校入学式！19人の新入生を迎える！！





加賀田亮 議員

## 問 重要政策の具体的な推進手法を問う

## 答 実践的な提言を前向きに検討したい

この4年間に町政は混迷し多くの弊害が残った。重要政策は迷走し職場の士気も低下したと感じる。職場改善・移住定住促進・子育て支援について新町長に課題と改善策を質した。こちらの提案に対し町長は真摯に受け止め善処する姿勢を示した。より良い町のために行政と議会の関係はこうありたいものだ。元気センターについて質すと、過去の暴走に疑問を持ち、大きな方針転換を検討しているように感じた。今後の英断を期待したい。

### いっばん質問

(町長) 過去にさまざまな手法を講じたよう

(問) 移住定住政策の課題と改善方針は。

(町長) その手法は実効性が高いと思われる。検討し善処したい。

(問) 肝心なのは職員の仕事に対する意欲を引き出すことでは。入念に面談を行い、職員個々の人生設計やキャリアプランを共有すること、さまざまなプラス効果が期待できると考えるが。

(町長) 専門人材の不足、責任の所在が不明確など職場の問題は山積だ。研修や人事交流を進め改善したい。

(問) 過去4年間の混迷で職場はさまざまな問題を抱えたと感じる。その認識と改善方針は。

だが、期待した成果が上がっていない。東京大阪圏でのPR活動や体験住宅の充実、企業誘致による就業確保などをより一層進めたい。

(問) 移住者にとって住居の確保は重要だ。町内の空き家を土地開発公社で買い取り、移住者に提供してはどうか。一定期間貸与した後、無償譲渡している自治体もある。企業誘致による雇用確保という手法は、実効性に疑問がある。個人で独立起業・開業を志す移住者を集中的に募っては。

(町長) 現状でも起業支援の仕組みはあるが、より一層充実させたい。

(問) 子育て支援政策の課題は。どう改善するのか。

(町長) 当町の支援が

PR不足で浸透していない。経済支援は積極的に進めたい。

(問) 特色ある教育は移住定住促進にも寄与する。公立保育園でネイティブによる英語保育を始めたことにより、移住者が大きく増加した自治体もある。移住促進と子育て支援をセットで取り組む「教育移住」は効果が十分期待できるのでは。

(町長) 興味深い提案であり、ぜひ前向きに検討したい。

(問) 前町長の元気センター事業方針について変更はあるか。

(町長) 当初計画からの変化に疑問を感じる。空き店舗を再利用する予定を変えて解体。場所の制限がなくなれば再検討すべき。有利な財源もないまま膨らみ続ける事業費も問題だ。子育て支援機能を持たせれば新たな財源が模索できる。7月中に町の方針を提示する。9月までに結論を出せるよう関係各署と協議を重ねたい。



英語保育で「教育移住」に取り組み効果をあげる自治体が増えている

# この町に暮らして

## 有機の野菜で子どもも元気に

(生田部奈) 矢野 悟

野県に来て、最初に中川村で2年間、有機

私が愛知県から松川町に越して来て、早いもので12年ほど経ちました。「松川町を選んだ理由は？」とよく聞かれるのですが、長野県で働かせていただける農家を探していたところ、中川村のある農家で働けることになりました。住居を中川村周辺でどこかないかと、不動産屋で探してもらって、いくつか見せてももらったなかに松川町があり、その物件が気に入ったのでそこに決めた。とこんな感じで松川町に住むようになったので、キラキラした理由では無いので、いつも申し訳ない感じで答えています。



さて、初めに少し触れましたが、私は農業がしたくて長

機農法の農家で働き、その後に松川町で独立するのですがこの2年間松川町に住んでいて、夜間ソフトに誘ってもらったり、消防団に入団させていだいたりして、松川町の人の良さや気さくさなどを感じて、「いい町なんだなあ」と思っ、「この町に永住しても良いかも」と考えるようになり松川町での独立を決めました。

そこで、農業関係の繋がりが欲しかったので、役場で相談したら、「若手農家の集まりで、『若武者』っていうのがあるからそこに入ってみては？」とのことだったので、入らせていただいたのですが、私が入った当時は、果樹農家ばかりで野菜農家は私含め4人。しかもそれぞれジャンルが違かったので、ちょっと不安になりましたが、別のジャンルのことを学べたり、販売体験などのイベントがあったりと色々勉強させてもらっ

## I Have a Dream!

私には夢がある  
未来に羽ばたく若者●子どもたち



### 松川中学校 パソコン園芸部

3学年合わせて24名で活動しています。園芸ではサツマイモを育てつつ、パソコン室では操作技術の習得を目指してタイピング練習やプログラミング、プレゼン作りを行っています。サツマイモの生長を楽しみにしつつ、毎日コツコツとパソコンに向き合うことで、タイピングが少しずつ速くなることが実感できる部活です。

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

たり、若い世代の農家の人と交流できて、入って本当に良かったです。そんななか、結婚して子どもも産まれて、農業の方も、「ゆうき給食とどけ隊」に入られてもらって、小中学校の給食へ野菜を提供させていただき、農作物の育成などを勉強させてもらったりして、美味しい野菜作りのスキルを磨かせてもらっています。今後、この松川町の地で野菜作り頑張っていきたいと思いますので、よろしく願います。

### 広報部 (編集委員会)

- (部長) 松井悦子
- (副部長) 米山義盛 塩沢貴浩
- (部員) 間瀬重男 米山郁子 星野光洋

### あとがき

北沢新町政がスタートして3か月を迎えようとしている。新町長には“善い政治”を大いに期待するところである。地方自治体の「善政の競争」が地方を発展させ、日本を変えることができる。とある。大学教授は言う。「あれも」「これも」実現できた時代から「あれか」「これか」を選択しなければならない時代になっているという。町民の選択が“善い政治”につながるよう、ひとり一人の声を町政に届けて参りたい。(塩沢貴浩)